



## 感動と幸せを呼ぶ革新の物作り

株式会社新幸機械製作所  
代表取締役社長 塚崎 武

新幸機械製作所は創業 80 年、会社設立 54 年を迎える会社です。ダンボール専用フレキシ印刷機を日本で始めて開発した会社で、数々の特許も保有する段ボールに特化した紙工機メーカーです。

近年は中国を代表とする東南アジア地域におけるの販売が急増しており、今後も更に地域の拡大を目指しておりますが、台湾や中国の同業メーカーが日本への進出を加速しており、日本市場に影響を与え始めています。中国が日本製を求め、



ダンボール印刷機

日本が中国製を求める妙な現象を体感しておりますが、なお一層革新的な技術や販売形態を開発することでグローバル化に対応したいと思います。

ATAC には新規開発のお手伝いから、産学連携、生産システムの構築、品質管理など経営に関することから技術的なものまで幅広くご支援頂いております。又弊社担当のスタッフの皆様は非常に熱心な方ばかりで大変感謝致しております。

段ボールの加工や加工機械又包装などについて、ご質問があれば是非ご相談下さい。



### 株式会社新幸機械製作所

〒 557-0063 大阪市西成区南津守 7-15-18  
TEL 06-6661-7121  
FAX 06-6657-2921  
URL <http://shinkom.com>

### ATAC ひと言

## ATACの品質管理検定（QC検定）のための

### オーダーメイド・出前研修

昨年秋に ATAC が「品質管理検定（QC検定）の 3, 4 級対策」の研修講座を開催するとご案内したところ、数社から「会社に出向いて社員に研修してほしい」と要請があり、企業の実態に合ったプログラムで研修を始めました。これまでに実施した 2 社について概要をご紹介します。

（株）新幸機械製作所（大阪市）は、国内外で有力な段ボール印刷機の製造会社で、10月のキックオフ大会で、塚崎社長は「創業80年、世界に飛躍する会社をめざして全社員が品質管理を向上させる元年としたい」と宣言されました。

（株）タツタ合成工業所（奈良県御所市）は、プラスチック成形加工、化粧品容器等のキャップの製造会社です。田畑社長は「顧客に良い品質の製品をお届けして、一層の信頼を得るためにQC研修を実施し、QC体制を確立したい」と宣言さ

れ、社長自ら各部署の推進リーダーと共に受講されました。

研修は、両社とも約 10 名の受講生を対象に、会社の実状に即して 5 回の研修会を実施しています。研修内容は、QC検定をベースに、「儲かる会社、工場をめざして！」のスローガンの下、  
①良品質の製品を各工程でどのようにして作るか  
②QCの基礎知識からQC手法とその活用法  
③クレーム・品質不良の要因解析と是正処置対策  
④ISO9001 マネジメントシステムの紹介（導入の狙いと認証取得までのスケジュール）  
などを内容としています。

今後は、具体的なテーマでQCサークル（小集団）活動に取り組む予定ですが、両社とも社員がQC検定合格にチャレンジする機運が高まっています。（多根井）